

日本での交換留学

パリ・シテ・大学
ルオー・セリーヌ

2022年10月から2023年9月まで一年間の交換留学になりました。今学期が終わってから、自国に帰る予定です。まだ終わっていないかのごとく、授業が進んでいます。フランスでは七月には夏休みになる慣習があります。もうすぐ帰る時間が来るのを分かっているながら、やはり感じられません。日本に来た時、留学を通して視野を広げたいと思っていたので、お茶の水女子大学での生活はとても良い経験になり、心から感謝しています。留学生活中は多くのサポートを受けました。教育チームや国際交流室、寮の管理人さんなど、相談相手がいなくなることはありませんでした。



東京だけではなく、文京区や大学の周りも色々な発見が待っていました。東京にある他の大学と比べればお茶大は小さいですが、私自身はその方が好きです。授業や寮が全部同じところにあって、迷いやすい私にはとても助かりました。大学内の自然環境もいつも私を落ち着かせてくれます。

授業の間には十分な休み時間があります。その間、コンビニで買った焼きたてのチョコクロワッサンを食べたり、お茶大の猫たちに挨拶をしたり、池の亀と鯉をみに行ったりできます。積み重なって日光浴

している亀はいつもかわいいです！

今学期、私は日舞班に入りました。浴衣を着て、きれいな和室で先生の指導をもらい、毎週金曜日に行きます。とても楽しいです。参加が毎週自由なものもいいです。部活は毎回音羽館で行きます。しかもある設備は部活のためだけではなく自分で予約することができます。例えば和室とか防音室とかがあり、寮に住んだら、

キチンスタジオ、シアタールーム、フィットネススタジオ、ミーティングルーム、たたみの間、テラスなど、色々なコンセプトルームを予約することができます。



留学生は普通特別日本語クラスを取りませんが、挑戦したい人は日本人と同じ授業に参加することもできます。そのため、ある授業の担当の先生にメールを送って、許可をもらい授業に参加することができます。今学期イベントも企画できました。とてもやりがいのある経験でした。

お茶大へ来てから日本の社会について色々なことを学びました。しかしそれだけではなく自分のことについてもよく知ることができました。自分の中からも外からも色々な刺激を受けました。石丸先生、毎月の振り返りシートを確認してくださってありがとうございました。部活や研究室、授業、フランス

語カフェなどの皆さんと会えたのは光栄の至りでした。面白いことづくめ留学生活、先学期にもまして速く過ぎた学期でした。ありがとうございました。